



## 第 14 回 例会 報告 (10月15日)

### 【 出 席 報 告 】

・ 会員数	54名	・ 出席数	35名	・ 欠席数	19名
・ 当日出席率	66.66%	・ 前々回修正出席率	100%		

<欠席会員>青野(淳)、原、檜垣(賢)、檜垣(直)、日野、平田、冠、小堀、桑森、松木、松本、西信、越智、竹田、田中、山本  
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、宮本

<10/1 欠席補填>(9/29 今治南)檜垣(俊)、平田、木村、小堀、河野、桑森、森岡、越智、竹田

◇**会長報告**・出席優秀者表彰 23回 渡邊(道)会員、22回 吉良会員、20回 大澤会員、渡辺会員、19回 川上会員、尾越会員、15回 近藤会員、久米会員

◇**幹事報告**・例会終了後ロータリークラブ事務局にてパスト会長会を開催しました。

## 創立記念例会

◆**近藤正人会長『今治ロータリークラブの歴史』**:創立記念に際して今治ロータリークラブの歴史を振り返ってみましょう。1934年3月村田ガバナー(大阪 R. 大阪商船)、三村氏(住友別子銅山)、木原氏(岡山 R. 木原商店)が来県し今治での RC 設立を要請。早速、4月に準備委員会を立ち上げ、10月17日発会式、12月26日 RI 認定となる。翌年5月19日、チャーターメンバー20名とご家族、東京、大阪、大連等多くのロータリアン、今治市長をはじめ総勢116名でチャーターナイトを開催。昼間は船をチャーターし四阪島、大三島寄港、鯛網漁見学等のクルージング、夜は波止浜公園内の渦潮楼にて大宴会を挙げる。当時、今治の人口は約53,000名。このような小さな町に日本で13番目のロータリークラブが短時間で出来たのは、迅速に新しい事に挑戦する今治気質によるものだと思います。その後、松山・高松等7クラブのスポンサークラブとなり、地区ガバナーを2名(1967年7月 宮崎研一会員・2006年7月 飯忠悟会員)を輩出し今年81年目を迎えています。このように歴史と伝統のある今治ロータリークラブで親子2代に渡り会長を務めこれからも精進して参ります。▼私は1986年27歳の時、イギリスを起点にユーロパスを使いバックパッカーのように15か国を回りました。その後も、出張やパッケージではない旅行で14か国、計29か国世界を回り現地を肌で感じるようになりました。その体験が一番感じた事は、いかに日本が素晴らしいかと言うことです。人に対しても物に対しても相手を思いやる、おもてなしの心が生きています。また日本程、格差の少ない国はありません。ただ常に国境と対峙している欧米に比べ、海に囲まれ国境の見えない日本人には国を守ると言う愛国心が少し足りない様に感じました。また欧米で一番感心した事は、スポーツを通して地域が一体化して文化となっている点です。ヨーロッパではフットボールを米国ではベースボールを中心に各地域に必ずチーム(プレミアリーグから地域リーグまで)があり住民が一体となり地域を盛り上げています。私も FC 今治の応援を通して今治が盛り上がる様に微力ながら努力して参ります。



<ビジター>今治北RC 田邊雅一様<普通銀行>

### 次回例会 (10月22日)

#### 【 国際奉仕委員会アワー 】

<会員誕生日祝> 八木 正史氏 (10/22)

<結婚記念日祝> 光藤 廣司氏 (10/22) 岡田 昌平氏 (10/22) 松木 徹夫氏 (10/22)

[ 笹 ]